

第46回 NPO 法人 口から食べる幸せを守る会 実技セミナーin 気仙沼 開催報告

会期：平成29年4月22日（土）

会場：気仙沼市立病院

主催：気仙沼・南三陸栄養サポート研究会

共済：NPO 法人 口から食べる幸せを守る会® 気仙沼・南三陸「食べる」取り組み研究会
気仙沼医師会 気仙沼歯科医師会 宮城県看護協会気仙沼支部
気仙沼地区地域医療委員会 気仙沼薬剤師会 株式会社大塚製薬工場

【開催目的】

早期経口摂取開始のための口腔ケア、ベッドサイドスクリーニング評価と安全・自立・効率的な食事介助技術のスキルアップが図れること、また「口から食べる」知識・技術を学ぶ機会を得て、気仙沼地域の経口摂取への取り組みが拡大することへ繋げて行くことを目的とする。

講師・アドバイザー一覧（敬称略）

氏名	所属	職種（摂食嚥下に関する資格）
小山 珠美 （神奈川）	NPO 法人口から食べる幸せを守る会理事長	看護師（日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士） KTSM 実技認定者
竹市 美加 （大阪）	NPO 法人口から食べる幸せを守る会副理事 ナチュラルスマイル西宮北口歯科	看護師（摂食・嚥下看護認定看護師） KTSM 実技認定者
一瀬 浩隆 （静岡）	NPO 法人口から食べる幸せを守る会 理事 あいクリニック	歯科医師（日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士） KTSM 実技認定者
佐藤 さと子 （宮城）	気仙沼市立病院	看護師（日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士） KTSM 実技認定者
三束 梨沙 （宮城）	気仙沼市立病院	言語聴覚士（日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士） KTSM 実技認定者
山崎 綾子 （宮城）	気仙沼市立病院	管理栄養士 KTSM 実技認定者
小野寺 裕子 （宮城）	特別養護老人ホーム 恵潮苑	看護師 KTSM 実技認定者
熊谷 良弘 （宮城）	特別養護老人ホーム 恵風荘	看護師 KTSM 実技認定者

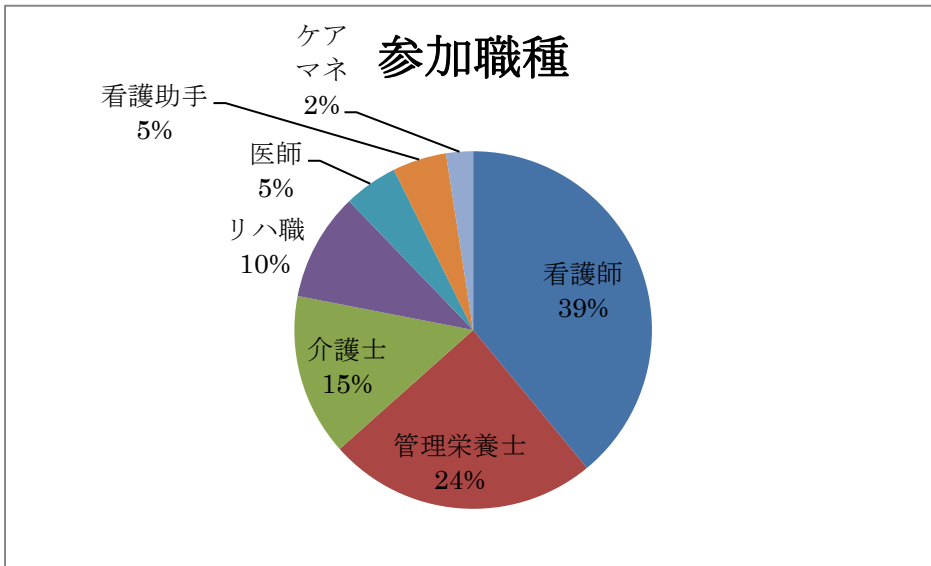
小山 竜也 (宮城)	特別養護老人ホーム 恵潮苑	介護士 KTSM 実技認定者
吉田 達 (宮城)	特別養護老人ホーム 恵潮苑	介護士 KTSM 実技認定予定者
菅原 和代 (宮城)	気仙沼市立病院	看護師 KTSM 実技認定予定者
西城 美晴 (宮城)	気仙沼市立病院	看護師 KTSM 実技認定予定者
奥山 恭平 (宮城)	気仙沼市立病院	作業療法士 KTSM 実技認定予定者

セミナーの様子

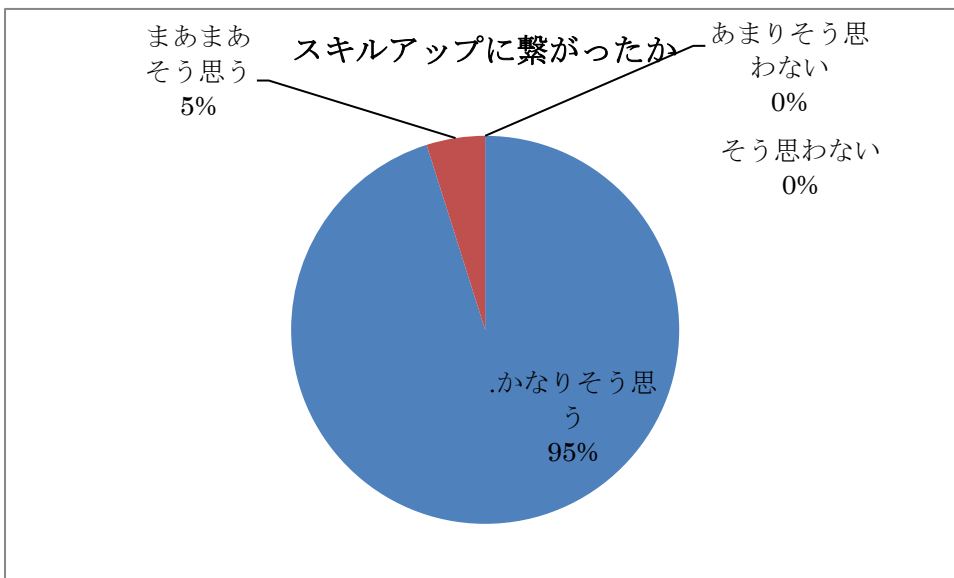


アンケート集計結果（回答者 41 名 回収率：100%）

【Q1：職種】



【Q2：セミナーの内容はスキルアップにつながったか？】

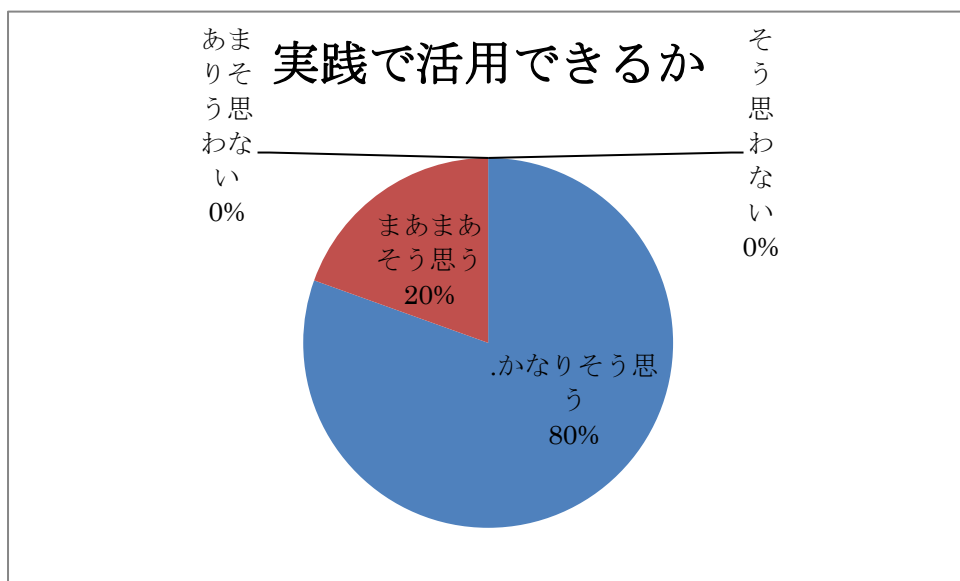


Q2 本日の実践セミナーの内容は、ご自身の口から食べる技術に関するスキルアップにつながったと思いますか。

- ・実際の食事介助場面で悩んでいたことを解決してくれるアドバイスをもらった
- ・相手の視点、気持ちに添うという基本にかえる事になり、技術的な面でも明日から使える事、学んだことが多かった
- ・わかりやすく教えて頂き参考になった。今後も機会があれば参加したい
- ・実際に介助される経験をして、指導頂き間違った介助をしていたと気づくことが出来た
- ・日々の介助が自分なりの介助であったとわかり見直しすることができた

- ・自己流になっていた部分が多く介助される立場を忘れていた。相手の身になり介助を行いたいと思った
- ・受講歴があるが細かいところを再認識でき、勉強になり入所者の気持ちになれ良かった
- ・基本となる評価を見直す良い機会となった
- ・自分の癖や直さなくてはいけないところがわかった
- ・患者さんの視点に立ち実体験できたので今後の援助に繋がりたい
- ・基本を再確認できた
- ・今まで意識していなかったことがこのセミナーでいろいろ勉強できた
- ・食事介助など自分自身がうまく行えていないところがあったので臨床の中で気を付けて意識して体で覚えていきたい
- ・体験することで介助する人の動きの重要性に気づけた
- ・普段行っていることの間違いとそうでなかったことがわかった
- ・体験して自分の悪いところがわかった
- ・口から食べる大切さを改めて感じた
- ・医師の診断が全てではないとわかった

【Q3：セミナーの内容は実践で活用できるか？】

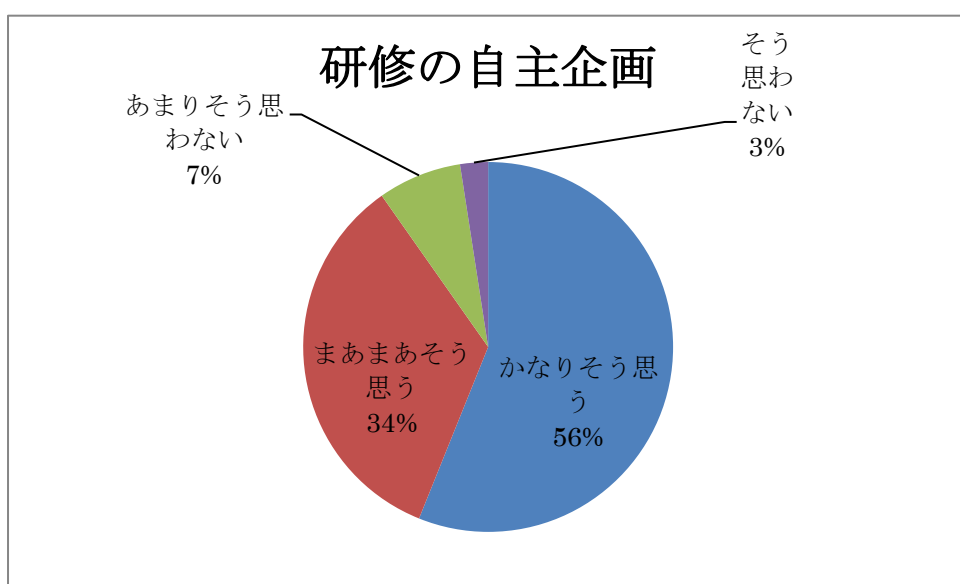


Q3 本日の実践セミナーは、今後の実践の場面で活用することができると思いますか。活用できる場合はどんな場面で活用できるか具体的にご記入ください。

- ・口腔ケアや食事介助場面だけでなく、相手の気持ちを考え支援にあたろうと思った
- ・食事介助の際や嚥下訓練においてこのセミナーで学んだ技術を活用していきたい
- ・職場の入所者の方の食べたいを叶えるために役立てたい。また、職場のスキルアップフォローアップをしていきたい
- ・口腔ケアの際のクルリーナ使用の手順や、食事介助時のポジショニングと介助方法など
- ・介護施設勤務であり em テーブルも所有しているので利用していきたい

- ・ポジショニングのやり方、安楽な姿勢の保持をしっかりと学べ為になった
- ・ベッド上、車いす上は今後実践できるので楽しみです
- ・ポジショニングや食事介助場面で活かそうと思う
- ・食事介助場面でのポジショニング、介助方法、スプーン操作など出来ていなかった部分を修正改善することができた
- ・口腔ケア、食事介助の全体的な流れが大変勉強になったので活用できるようになりたい
- ・実際に患者さんに援助していきたい
- ・入院患者さんや在宅の患者さんにも大いに役立つと思った
- ・車いすの患者さんや脳梗塞の患者さんに活用できる
- ・自分がどれだけ患者さんの視点から援助していなかったか実感できたので、日々の援助でどんな場面でも意識していきたい
- ・評価、ポジショニング、食事介助など実践で活かしていきたい
- ・職員への勉強会や食事介助時
- ・実際に食事介助はしていないが現場のスタッフへ実践してもらおうことはできるし、今までの食事指導にプラスして話すことができると思った
- ・患者さんの目線で行う大切さをしった
- ・食事介助場面で役立つ。特にスプーン操作や角度など意識していこうと思う
- ・病棟の摂食トレーニング
- ・通常の食事が困難な方や家族へのアドバイス
- ・介助の基本を学ぶことが出来た

【Q4：自ら企画しようと思うか？】



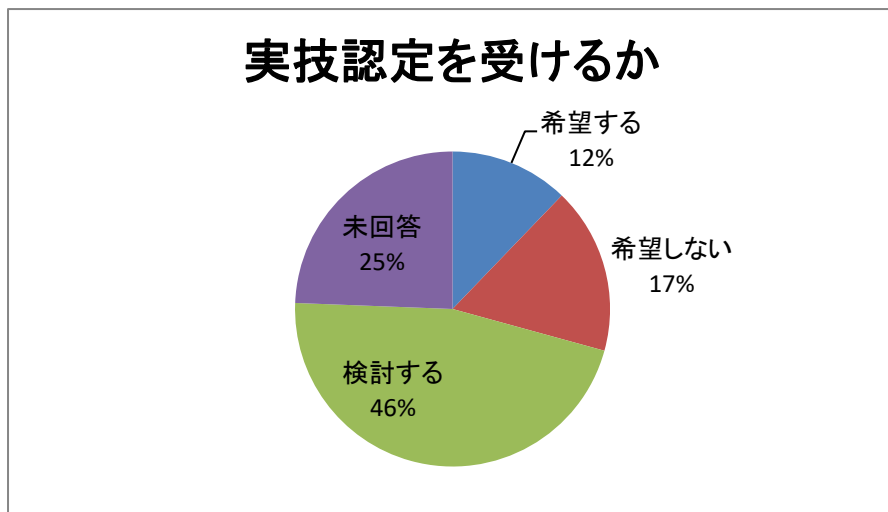
Q4 本日の実技セミナーのような研修をご自身の病院、施設、地域で自ら企画して行おうと思いませんか。

- ・スタッフに知ってもらいたいと思う食事介助のポイントがたくさんあった
- ・摂食嚥下に関する技術は今後医療現場で必要になるため職場内で伝えることが必要
- ・自分には企画して行える技術と知識が身につけていない
- ・しっかり身につけ、習得できるまでまだまだ勉強不足なので勉強していきたい
- ・自施設でも摂食嚥下の講演会のあと実技セミナーを受けたいというスタッフが増えてきている
- ・この研修で得たことを広げていきたい
- ・病院全体で取り組んでいるので職員全員でやれると思う
- ・自施設で伝達していきたい。いずれ地域の在宅介護の方を対象に勉強会をしたい
- ・各入所者に合わせた食事介助を少しずつ職場に広げていきたい
- ・アドバイザーと一緒に可能だと思う
- ・多くの職種に知っていただきたいと思った

【Q5：今後取り上げてもらいたい内容は？】

- ・患者さんに喜んでもらえるように食形態をどう工夫すればよいか知りたい
- ・様々な場面で役立つ応用を教えてほしい
- ・わからないことが多く、理由や理屈を良く知りたい
- ・様々な障害のある方の食事介助の方法
- ・K T B Cの活用
- ・K T B Cを深めたい
- ・病態ごとのポイントがあれば知りたい。ALSに関してもっと知りたいと思った
- ・未だに誤嚥性肺炎を恐れて経口摂取に移行できないことが多いのでスタッフへの意識づけやどうしたら安心して経口摂取へスムーズに進められるか
- ・認知症患者への口腔ケア
- ・傾眠傾向の人への食事介助や有効な声掛け
- ・拒食の人への対応
- ・摂食困難例への対応

【Q6：K T S M実技認定審査を受けることを希望しますか？】



毎年遠い気仙沼まで足を運びセミナーを開催して頂き本当にありがとうございます。ここまで摂食に関する関心が深まったのは、小山さんはじめ竹市さん、一瀬先生そして全国にいるKTSMのメンバーの熱い想いがあってこそと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



一緒にがんばっぺ！チーム気仙沼



©気仙沼市ホヤぼーや

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！